

【資料1】

令和5年度 東区まちづくり事業（案）

東区役所総務企画課

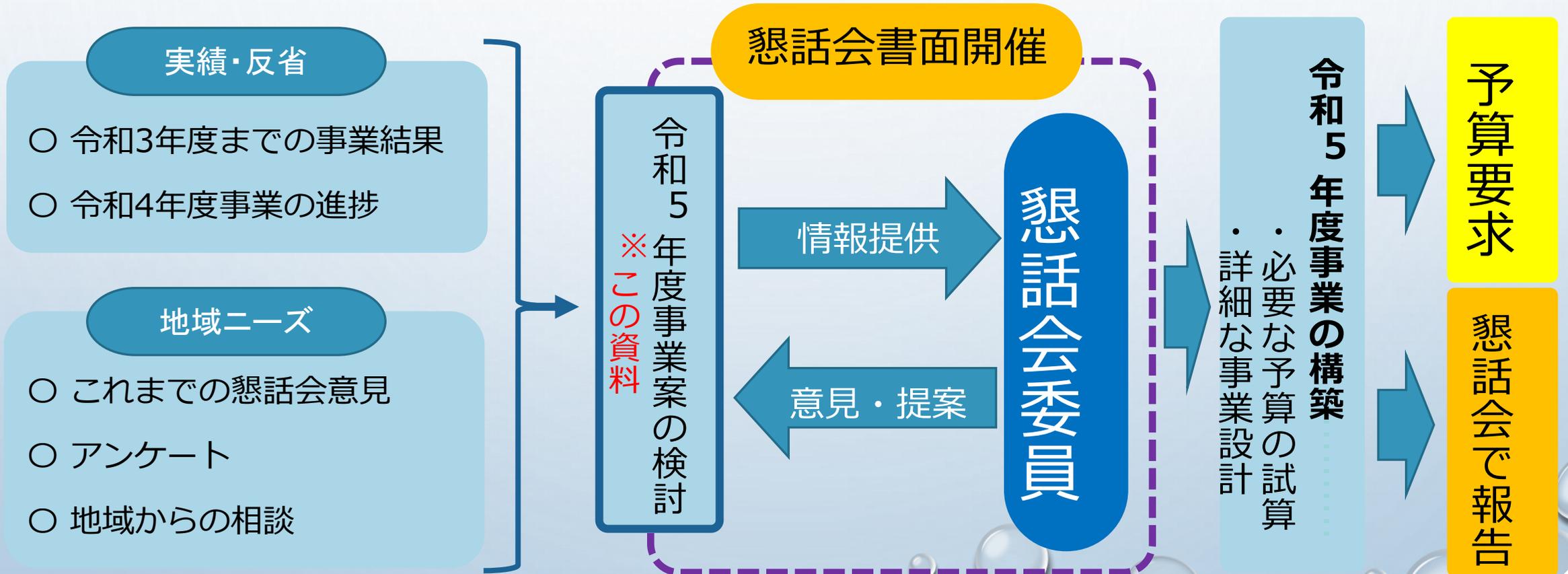
令和4年度 第2回 東区まちづくり懇話会資料

目次

令和5年度 まちづくり推進事業構築の流れ	… p 1	9 地域防災合同訓練・防災啓発事業	… p 12
事業終了・統合される事業	… p 2	10 あさひばみんなの防災フェスタ開催事業	… p 13
次ページからの資料の見方	… p 3	11 東区健康まちづくり推進員支援事業	… p 14
1 地域の情報ネットワーク活性化支援事業	… p 4	12 子育て支援ネットワーク活性化事業	… p 15
2 東区地域コミュニティづくり支援補助金	… p 5	13 いきいきサロン活動支援事業	… p 16
3 東区民文化スポーツ交流事業	… p 6	14 地域ささえあい推進事業	… p 17
4 あさひばリビング(地域交流スペース)活用支援事業	… p 7	15 自然環境魅力向上事業	… p 18
5 企業と地域を結ぶまちづくり応援事業	… p 8	16 美化活動啓発事業(ごみステーション管理啓発)	… p 19
6 地域活動理解促進事業	… p 9	17 けんぐん食と健康まつり開催事業(旧東区民まつり)	… p 20
7 安全安心のまちづくり事業	… p 10	18 まちづくり懇話会開催経費	… p 21
8 ちょこっとパトロール	… p 11	19 東区地域活性化支援事業	… p 22

令和5年度 まちづくり推進事業構築の流れ

☆これまでの事業結果や地域ニーズをもとに新年度の事業を検討し、委員の皆様の御意見を聞きながら、令和5年度事業の構築、予算要求へ繋がります。



令和4年度で終了事業・統合される事業

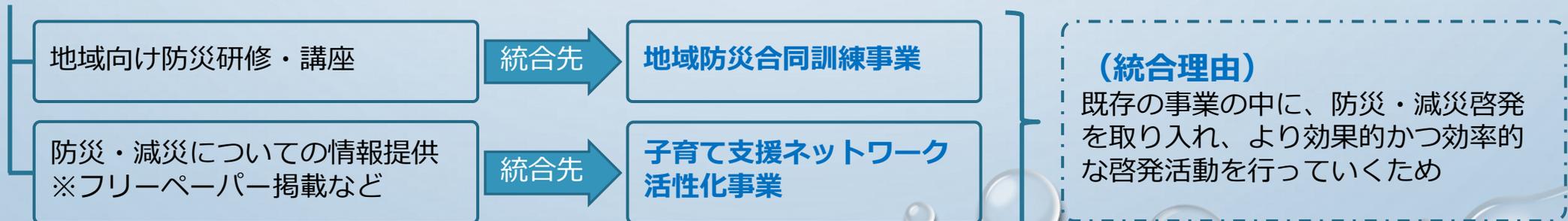
令和4年度に実施する事業のうち、以下の事業については、令和4年度末を以って事業終了または、別の事業に統廃合されます。

令和4年度で終了となる事業

- 東区まちづくりビジョン検証市民アンケート委託業務
(理由) 東区まちづくりビジョン検証のための単年度事業のため

令和5年度から別の事業に統合される事業

防災・減災啓発事業



次ページからの資料の見方

1 地域の情報ネットワーク活性化支援事業

事業番号

【事業年数】 令和5年度で3年目

《今後の予定》

当面は事業を継続。地域ニーズ、情勢に応じて内容を変えていく。

当該事業の年数と、今後の予定を記載しております。
(令和4年8月時点)

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予》

・希望団体へのICTサポーター派遣

・LINEやOFFICEの講座を開催

・町けネットリテラシー研修の開催

令和5年度に予定している事業内容及び、事業に対する課題を簡単に記載しております。今後、委員の皆様から頂いた御意見や、これまでの事業結果を元に詳細を組立てていきます。

・個人によって求めている講座のレベルにズレがある
・希望する講座を受講が無いとスキルアップ難しいのではないかと

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

・市に地域のICT普及に主導力を発揮してもらいたい。

・マニュアル等の整備、個人情報等のセキュリティ対策を含め充実したサポートを希望。

《自治会長アンケートの御意見》

・OFFICEの研

・会計のひな

事業を計画するにあたり、参考にさせていただいている「懇話会委員」及び「自治会長アンケート」や「まちセン、総務企画課へ相談に来られた市民」の意見を記載しております。

1 地域の情報ネットワーク活性化支援事業

【事業年数】 令和5年度で3年目

《今後の予定》

当面は事業を継続。地域ニーズ、情勢に応じて内容を変えていく。

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

- ・希望団体へのICT講師派遣
- ・LINEやOFFICEの講座を開催
- ・地域団体向けネットリテラシー研修の開催

《課題》

- ・団体や個人によって求めている講座のレベルにズレが有る
- ・継続した受講が無いとスキルアップが難しいのではないか

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・市に地域のICT普及に主導力を発揮してもらいたい。
- ・マニュアル等の整備、個人情報等のセキュリティ対策を含め充実したサポートを希望。

《自治会長アンケートや来課者の御意見》

- ・OFFICEの研修をしてほしい
- ・会計のひな形がほしい
- ・聞きたいときにすぐに聞きに行ける場所が欲しい。

2 東区地域コミュニティづくり支援補助金

【事業年数】 令和5年度で11年目

《今後の計画》

当面は事業を継続。これまでの実績を踏まえ、内容を見直していく。

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

- ・ 補助制度の周知・利用促進と合わせて、相談段階からの団体への申請フォローや過去の活用事例等の紹介を積極的に行う
- ・ 地域活動におけるICT技術の導入を推進するため、ICTを活用した新たなまちづくりの取組みに対し、本補助金の積極的な利用を促す

《課題》

- ・ 申請団体に偏りが見られる
- ・ 申請書や審査会の煩雑さから、申請を見送る団体もある

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・ 自治会への加入や地域活動への参加を促進するためには、地域が主体的に自ら企画立案した事業を、行政側が積極的に支援していくことが必要。
- ・ 地域活性化のためにも継続してもらいたい。

3 東区民文化スポーツ交流事業

【事業年数】 令和5年度で9年目

《今後の計画》

スポーツ大会は、令和4年度に地域主体の行事へ移行。
区長賞提供は継続。

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

- ・地域主体のスポーツ交流事業として開催
(令和4年度種目 モルック、ボッチャ→参加者の距離を取ることができ、屋外等でできる種目への変更)
- ・区長賞は地域団体から申請があった場合に提供

《課題》

- ・スポーツ交流大会について校区単位となっていない
- ・区長賞提供件数が増えていない

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・人を集める行事が開催困難な中で見直しが必要
- ・パラリンピックの競技ボッチャなどの障がい者スポーツは、障がい者だけでなく子どもから高齢者まで、様々な世代でたのしめると思う。
- ・子どもたちの故郷づくりの一環として、書初め大会を小学校と打ち合わせしたら好評で、今後も毎年続けていく。

4 あさひばりビング(地域交流スペース)活用支援事業

【事業年数】 令和5年度で5年目

《今後の計画》

当面は事業を継続。地域ニーズに応じて活用方法を検討。

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

- ・ワークショップの開催
- ・地域交流スペースの常設

《課題》

設置開始時は、子どもから高齢者まで多世代が利用されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う公設公民館の感染対策ルールにより常設出来ない状態が続いており、事業が浸透していない

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・地域の高齢者等を“市民先生”として活用
- ・まちセンにフリースペースをつくる
- ・「人と人とのつながり」や「世代間交流」が重要
- ・世代間で学び合うなど、お互いに支え合っていくことが重要

5 企業と地域を結ぶまちづくり応援事業

【事業年数】 令和5年度で2年目

《今後の予定》

当面は事業を継続。地域ニーズ、情勢に応じて内容を見直していく。

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

- ・ 令和4年度の実績等を踏まえ、内容を見直して継続実施
- ・ 地域団体の参加や登録企業の増加を図ることにより、課題解決や地域活動の更なる活性化を図る

《課題》

- ・ 事業開始初年度ということもあり、参加いただく地域団体数が伸び悩んでいる
- ・ 参加いただく地域団体や登録企業の所在校区に偏りがある

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・ 「知り合い・つながりの輪」を深める地域づくり
- ・ 各地域を巻き込んだ取組
- ・ 民間企業から協力を得られる体制づくり

《自治会長アンケートや来課者の御意見》

- ・ 複数の企業から、「地域貢献をしたいと考えているが、地域団体に対してどのようにアプローチしたらよいかかわからない。」との相談

6 地域活動理解促進事業

【事業年数】 令和5年度で2年目

《今後の計画》

モデル校区での有益性を検証し、他校区での実施を検討。

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

①集合型就学前世帯交流イベント

- ✓ 対象世帯同士及び地域団体等との交流の場づくり

②お悩み解決サポート

- ✓ 地域活動や地域団体長からの活動紹介などを撮影し、動画で紹介
- ✓ 質問受付サイトを開設し、地域団体長などからの回答を配信

《課題》

- 対象世帯への案内のタイミングが遅くなってしまう
- コロナ禍での集合イベントの開催判断が困難
- コロナ禍で紹介する地域活動自体が少ない

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- 地域活動を、損得勘定で捉えたり交流を負担に感じる人へ、説得力あるアプローチ手法が必要。
- 「知り合い・つながりの輪」を深める地域づくりを提案する。
- この状況下でも知り合う機会をどう作るかが重要。普段から不安を書き込み共有できる場があれば。
- 自治会が子どもたちやお年寄りのためにどんな活動をしているのか、もっと周知する必要がある。

《自治会長アンケートや来課者の御意見》

- 子ども会や地域の活動実態などを知る機会がない。
若い世帯等が関心を持つにはどうしたらよいか。

7 安全安心のまちづくり事業

【事業年数】 令和5年度で10年目

《今後の計画》

当面は事業を継続

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

- ・ 区民啓発事業
- ・ 高校生との協働事業

《課題》

- ・ 東区の交通事故発生件数、犯罪認知件数は、減少傾向にあるものの、さらなる安全安心のまちづくりを目指して、交通安全、防犯意識向上の啓発活動の継続は必要
- ・ また高校生等の自転車マナーについて苦情も多いことから、高校生の交通安全意識向上が必要

【地域二一ズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・ 自転車の高校生が右側通行や車の間を縫って走る危険な走行をしている。高校生の交通意識を改めるため、抜本的な取組が必要ではないか。

8 ちょこっとパトロール

【事業年数】 令和5年度で5年目

《今後の計画》

熊本市からちょこっとパトロール実行委員会への負担金が令和5年度で終了。当面、事業を継続して行う。

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

- ・ 10月の全国地域安全週間に合わせた各校下校時見守り及び啓発活動
- ・ 2学期終業式並びに新学期に入る前に校区一斉防犯パトロール時の美化作業
- ・ 各地域で開催されるイベント、地域への呼びかけ等を通じて認知度を広める

《課題》

- ・ 事業継続を行うための資金確保のため、収益、協力金を得て、事業を継続していく必要がある
- ・ 当初、事業が軌道に乗れば、事務局等、地域団体へ自主自立の体制へと移行する予定であったが、地域側として、事業を担う団体がない

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・ ペットショップや動物病院にチラシを置かせてもらう。
- ・ 担い手として大学生への周知や声掛け
- ・ 応募してきた高齢者へ防犯パトロールワッペンを支給する。

《自治会長アンケートや来課者の御意見》

- ・ 地域団体の活動にも地域役員を含めちょこパトTシャツ・ビブスを着てもらう。
- ・ ちょこパト月間等をつくり、地域のセブンイレブン等の店舗、並びに地域の各種団体イベントでも広報・PR活動を行う。

9 地域防災合同訓練・防災啓発事業

【事業年数】 東区設立以降継続中

《今後の計画》

防災・減災啓発事業と統合し、東区の全校区を対象に事業を継続。

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

- ・校区防災連絡会・避難所運営委員会の開催
- ・校区ごと、避難所ごとに避難所運営・開設訓練等の実施
- ・地域とともに熊本市震災対処実動訓練の実施
- ・校区防災連絡会会長・地域向け防災講座、研修会を実施する

《課題》

- ・コロナ感染症拡大の影響から会議、訓練等の実施がしづらくなっている現状から住民の防災意識向上と地域全体の災害対応力を確立できるか
- ・災害に備える住民一人ひとりの自助力とまわりと助け合う共助力をいかに向上させるか

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・校区防災連絡会、避難所運営委員会の開催が急務。オンライン会議により情報交換等を実施。
- ・地域防災力の向上は、直接的な支援の他に、暮らしの中で実施する活動に少し防災のエッセンスを加える。
- ・コロナ禍でも災害は待ってくれない。コロナ禍でもできる災害訓練は必要。

《自治会長アンケートや来課者の御意見》

- ・最近、大雨等による災害が増えているから気象情報等に関する防災講座を実施してほしい。

10 あさひばみんなの防災フェスタ開催事業

【事業年数】 令和5年度で7年目

《今後の計画》

当面は事業を継続。地域ニーズや情勢に応じて開催手法等を検討。

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

- ・ 体験型ワークショップ等を年数回開催
- ・ 動画配信による防災の啓発

《課題》

新型コロナウイルス感染症の影響で、申し込み不要で気軽に立ち寄って参加していただいていた以前の手法での開催が難しいため、多くの方に体験していただく工夫が必要。

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・ 子育て世代を対象に、“子どもたちの遊びの先に防災”のように、親子で知識・能力の向上を期待
- ・ 住民一人ひとりの防災意識を高め継続させる必要がある。
- ・ 直接防災を検討しない事業において防災エッセンスを追加

11 東区健康まちづくり推進員支援事業

【事業年数】 令和5年度で7年目

《今後の計画》

当面は事業を継続

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

- ・健康まちづくり推進員協議会
(総会・定例会・スキルアップ研修会等)
- ・健康まちづくり推進員養成講座

《課題》

- ・コロナ禍の影響で、地域の健康活動が停滞し、生活習慣病やフレイル等、さまざまな健康問題が懸念される
- ・高齢化による地域役員の担い手の減少や地域活動が停滞することによる地域住民の繋がり希薄化、地域内での子育て世代の孤立など、地域課題が加速する恐れがある

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・コロナ禍でも、市民が在宅で健康を維持できるよう、推進員の活動分野の開拓が必要。
- ・コロナ禍による外出頻度の減少や運動量の減少が生活習慣の悪化を来し、疾病や認知症の増加や悪化を引き起こす。運動指導やコミュニケーション形成のまちづくりを進めてもらいたい。

12 子育て支援ネットワーク活性化事業

【事業年数】 令和5年度で9年目

《今後の計画》

防災・減災啓発事業と統合し、当面は事業を継続。

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

- ・東区子育て支援ネットワーク運営委員会、東区子育て支援ネットワーク連絡会の開催
- ・思春期健康教育の実施（コロナ感染状況に応じ、中学生と母子交流の再開、支援学校での思春期教育の実施）
- ・防災・減災についての情報提供を行っていく方法を地域住民と考えていく

《課題》

- ・コロナ禍で、従来の対面による子育て支援活動(会議、世代間交流等)が難しい
- ・若い世代をターゲットにした啓発の仕方の工夫が必要(ICTの活用等)
- ・虐待予防の観点から、思春期を対象とした保健活動の充実

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・食とつながる地域の環事業と一本化し、活動の実践家を進める取り組みにはどうか。
- ・子育てネットワークを拡充して、幅広い活動ができるようにすることが大事。
- ・思春期教育は、中高生からの関わりが重要。
- ・財源確保が困難な中、効率のよい事業実施が求められる。各事業において防災エッセンスの追加を検討するだけで「防災・減災啓発事業」の代替えにすること等も一案ではないか。

《自治会長アンケートや来課者の御意見》

- ・作成したリーフレットは、母子手帳交付時、幼児健診、保健師の家庭訪問等で配布しているが、来課者から「他の情報提供と同じ用紙にならないのか」「配布される用紙が多すぎる」等の声を聞く。

13 いきいきサロン活動支援事業

【事業年数】 令和5年度で4年目

《今後の計画》

- ・感染拡大に注視しつつ、集合型講座実施、撮影。DVDの提供
- ・管轄エリアを中心に内容充実を図り、東区全体に広げることを検討
- ・主催者と協力団体のマッチングの充実を図る（冊子は隔年作成。）

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

- ・サロン主催者向けのレクリエーション教室を開催
→ その様子をDVDに収録し、サロン主催者へ配布
- ・サロンを支援できる団体等をまとめたマッチングブックの作成

《課題》

- ・コロナ禍でサロンが中止になるなど、ニーズがつかみきれない
- ・主催者のスキル向上よりも、介護予防として捉えられてしまう

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・閉じこもりや介護予防のため自宅でできるオンライン運動、eスポーツの普及などの推進が必要。
- ・介護予防などの情報を映像化し、DVD作成・配布や市公式YOUTUBEやフェイスブック等で配信。
- ・支援が必要な方のニーズを把握し、ニーズに合わせたボランティアを結びつけるマッチングが必要。
- ・基本的なコロナ対策を行いつつ少人数から会議や集まりも行っていくべき。

《自治会長アンケートや来課者の御意見》

- ・定期的にレクリエーションの手法を学ぶ場を設けてほしい。
- ・サロン活動が再開したら、ぜひDVDを活用したい。

14 地域ささえあい推進事業

【事業年数】 令和5年度で10年目

《今後の計画》 当面は事業を継続。地域ニーズに応じて再計画する。

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

【認知症理解浸透事業】

- ・ 認知症サポートリーダー（認とも）養成講座および活動支援
- ・ 認知症サポーター養成講座の開催勧奨 ・ 認知症声かけ訓練実施支援

【自立意識醸成事業】

- ・ 市民向け啓発活動 ・ 専門職向け研修会の開催

《課題》

- ・ ボランティアが地域活動につながっていない。見守る側見守られる側双方のルールづくりやボランティアと活動の場のマッチングの仕組み、地域団体の理解と協力が必要
- ・ 買い物や高齢者サロンまでの移動支援のニーズが高い。補助金制度はあるが、支援者の高齢化や自動車保険への加入等がネックになり、活動団体が増えない
- ・ 自らの健康状態に応じて自分の力を活かし、社会生活を送る意識の醸成が不十分

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・ 子どもたちと認知症サポーター養成講座の取組をリンクさせることを検討できれば。
- ・ 認知症サポートリーダー養成講座の受講要件は年齢を問わない（学生も可）ことを明示すると周知しやすい。
- ・ 見守りなどに、企業の協力が得られないか。

《自治会長アンケートや来課者の御意見》

- ・ 地域活動運営者の高齢化が進み、活動を維持できない。
- ・ 見守りは社会全体で行っていくものというメッセージを行政から発信してほしい。
- ・ 自分でもできるがヘルパーに掃除をしてほしいという思いから介護保険サービスを申請する人も多い。自立意識や重度化防止の啓発をしてほしい。

15 自然環境魅力向上事業

【事業年数】 令和5年度で3年目

《今後の計画》

令和5年度で一旦終了予定。令和6年度から始まる新ビジョン（または第8次総合計画）に合わせ事業を変更していく。

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

- ・ 託麻三山の紹介活動
- ・ 地域ボランティアグループや周辺自治会共に下江津湖（広木公園）を散歩しながらゴミ拾いイベント

《課題》

- ・ 託麻散策マップや看板の活用方法
- ・ 託麻三山や江津湖以外の自然環境（健軍川や公園）の魅力向上

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・ 東区には、託麻三山以外に自然の宝庫と言える江津湖がある。この山と湖の両方を活かして、全国都市緑化フェアを契機に魅力向上策を。
- ・ 小さなボランティアグループが東区にはたくさんあると思うので、そこにもっと働きかけると人が集まると感じる。自治体、ボランティアグループ、企業との連携を拡大していけば、大きな力になる。

16 美化活動啓発事業（ごみステーション管理啓発）

【事業年数】 令和5年度で2年目

《今後の計画》

当面は事業を継続。地域ニーズ、情勢に応じて内容を変えていく。

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

- ・ 地域のごみ（ステーション管理）問題についての作品（ポスター等）を小学生から募集
- ・ 作品をHPなどで公表、受賞作品を用い、ポスターを作成
地域での啓発に活用

《課題》

- ・ 応募作品の活用をどう展開していくか
- ・ 自治会活動支援にどのようにつなげていくか

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・ 自治会加入促進事業やゴミ出しルール啓発ポスターなどの取組は、良い方向へ進んでいると思う。
- ・ 作品の標語を地域のステーションに掲示することはどうでしょうか。

《自治会長アンケートや来課者の御意見》

- ・ ルール違反者への指導強化が必要。説明会やポスターによる啓発など。

17 けんぐん食と健康まつり開催事業（旧東区民まつり）

【事業年数】 令和5年度で3年目

《今後の計画》

当面は事業を継続し、自主自立のまちづくりの観点から実行委員会を地域主体に移行し、民間活力をさらに活用して新たなテーマによる地域主体のまつりとしての開催を目指していく。

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

11月下旬 東区民まつり「けんぐん食と健康まつり」開催

《課題》

- ・「食と健康」というコンセプトに沿うイベント内容の検討
- ・令和2年度からの旧東区民まつりを行政主体から地域主体へ移行したが、コロナ禍により、未開催となっている

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・自主財源による活動へ移行する際には、移行自体に対する支援があると望ましいと思われる。
- ・“東区”の地域アイデンティティを如何に醸成するか、政策目的を再確認して見直しされるよう。

18 まちづくり懇話会開催経費

【事業年数】 令和5年度で11年目

《今後の計画》

令和6年度から始まる新東区まちづくりビジョン（または第8次総合計画）に合わせ事業を計画していく。

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

- ・新東区まちづくりビジョンの策定に向けたワークショップ
- ・今後のまちづくりを議題にした懇話会

《課題》

- ・令和2年度以降がコロナ禍による集合型開催が難しく、本来の懇話会である委員同士の議論があまりできていない
- ・オンラインによる開催だけだと慣れるまで意見が出にくい

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・課題の解決に向け、委員をはじめ、区民の意見を踏まえながら区のまちづくりに取り組んでほしい。
- ・コロナ時代に対応できる会議開催手法として、今後WEB会議導入の必要性は高い。

19 東区地域活性化支援事業

【事業年数】 令和5年度で7年目

《今後の計画》

当面は事業を継続。その時の地域ニーズに応じて事業を行う。

【令和5年度の事業予定・課題】

《事業予定》

- ・ 地域課題解決に向けた事業を実施
- ・ 各まちづくりセンター地域担当職員の支援
- ・ 自治会加入促進啓発の継続

《課題》

- ・ 若年層や転入者を対象としたニーズが拾いきれてない
- ・ 地域の担い手発掘が難しい
- ・ フリーライダー（自治会などにタダ乗り）対策が急務

【地域ニーズ反映】

《懇話会委員の御意見》

- ・ 自治会活動の内容や地域の繋がり、地域共生社会の必要性を住民に周知していくための取組は大事と考えます。
- ・ 防犯灯の維持管理やゴミ捨て場の管理など、地域住民の共助で成り立っていることをアピールしていく。
- ・ 自治会加入促進事業やゴミ出しルール啓発ポスターなどの取組は、良い方向へ進んでいると思う。